

◎昭和 46 年度第 5 回理事会議事録

出席者：高野会長，石川，奥村，篠原の各副会長，下村専務理事，足立，荒木，石上，岩垣，小山内，尾崎，吉川，後藤（尚），竹内，難波，細井，村田，山本の各理事，柳瀬，横田の各監事。議事録署名理事の決定：高野会長，下村専務理事，難波理事。A. 報告事項：次の各項につき下村専務理事より報告があり了承された；1) 会計報告。2) 刊行物頒布報告。3) 各種委員会その他報告。4) 会務担当理事会報告：下村専務理事から，昭和 46 年 10 月 13 日（月）開催の会務担当（経理）理事会における議題「土木学会の予算財源の検討について」の議事概要および審議経過については，さらに資料を整備のうえ，11 月中旬に再度審議することになった旨の説明があり了承。B. 協議事項：1) 東レ科学技術賞および科学技術研究助成の各候補者の推薦について；下村専務理事から，関係大学および研究所へ推薦方を依頼した結果，それぞれ推薦回答があった旨の説明があり，種々論議した結果 2 件を推薦することを決定。2) 日本工学振興センター（仮称）設置準備委員会委員の推薦について；下村専務理事および会長から，10 月 18 日開催の日本工学会会長会議において，日本工学振興センター（仮称）設置についての準備委員会に土木学会からも委員を出されたいとの要請があった旨の説明があり，論議された結果，センターに参加するか否かは別問題として，とりあえず委員を出すこととし，具体的人選については 10 月 27 日開催予定の土木会館建設懇談会に一任することに決定。3) 昭和 47 年度科学研究費補助金の配分にかかる審査委員候補者の推薦について；下村専務理事から，概要説明があり，大学関係理事に一任願いたい旨の提案を行なった結果，異議なく決定。なお，会長の提案により理事会終了後に具体的人選を行なうことになった。4) 開発途上国に対する土木技術協力の強化および促進に関する提言について；下村専務理事から概略説明があった後，横田監事（建設コンサルタント委員会幹事長）から前回理事会以後の経過（案文修正を含む）について説明があり，種々論議された結果，会長名をもって関係官庁等に提出することに決定。5) その他；①田中賞選考委員会の構成および運営に関す

る内規の改正について；下村専務理事および奥村副会長から概要説明があり，原案どおり推薦者として「支部」を追加することを異議なく承認。②会員入退会について；③次の理事会について。

◎各種委員会

(1) 会誌編集委員会書評小委員会 (46.9.1) 出席者：堀江委員長，ほか 5 名。議事：1) 経過報告。2) 受付図書審査。3) その他。

(2) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会塗装分科会（第 3 回）(46.9.2) 出席者：関係者 8 名。議事：塗装仕様作成について。

(3) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会脱水等に関する分科会(46.9.3) 出席者：左合主査，ほか 10 名。議事：1) 調査日報等の検討。2) 豊平川処理場実プラントの運転状況について。3) 泉比処理場におけるパイロットプラント実験について。4) 藤沢市の現況。

(4) 岩盤力学委員会第 1 分科会地質調査班打合せ (46.9.3) 出席者：関係者 5 名。議事：地質調査に関する解説書原稿の検討。

(5) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会第 1 回委員会 (46.9.3) 出席者：沼田委員長，ほか 54 名。議事：1) 挨拶（委託者側，受託者側，委員長）。2) 国鉄の線路建造物の概況について。3) 土木建造物の取替標準の制定について。4) 審議の進め方について。

(6) 合成桁鉄道橋の設計標準に関する研究委員会第 1 回委員会 (46.9.6) 出席者：沼田委員長，ほか 24 名。議事：1) 挨拶（委託者側，受託者側，委員長）。2) 設計示方書改訂の主旨および体系の説明。3) 国鉄の合成桁の現況。4) 道路橋合成桁設計示方書改訂の概要。5) 示方書改訂としての問題点の概要。6) 今後の委員会の進め方。

(7) 沈埋トンネル耐震設計研究委員会 (46.9.6) 出席者：岡本委員長，ほか 15 名。議事：1) 軟弱地盤における地中建造物の説明。2) 各分科会研究方針第 1 次案の検討。3) 沈埋トンネルの設計，施工法に関する調査報告書の説明。

(8) 安全問題研究委員会第 2 回幹事会 (46.9.6) 出席者：関係者 5 名。議事：労働安全関係法律，規則等の検討。

(9) 文献調査委員会 (46.9.6) 出席者：小林委員長，ほか 13 名。議事：1) 会誌 56 巻 11 号登載抄録について。2) 紹介記事について。3) 解説記事について。4) 委員会活動の件。5) その他。

(10) 土木会館建設懇談会第 1 回幹事会 (46.9.7) 出席者：関係者 3 名。議事：懇談会今後の運営推進について，幹事会が何をすべきかを討議。

(11) 会誌編集小委員会 (46.9.7) 出席者：千秋委員長，服部幹事長，ほか 7 名。議事：1) 経過報告。2) 受付論文審査。3) 学会誌 57 巻 2 号編集。4) 全国大会用アンケート作成。5) その他。

(12) 耐震工学委員会打合せ(46.9.8) 出席者：久保副委員長，ほか 4 名。議事：構造物の地震応答解析と実例（出版物）の原稿について。

(13) 昭和 46 年度耐震工学委員会第 1 回委員会 (46.9.8) 出席者：岡本委員長，久保副委員長，ほか 17 名。議事：1) 常任委員会経過報告。2) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会について。3) “土木技術者のための振動便覧(出版物)”の改訂について。4) 今後の委員会，研究会活動について。5) 土木建造物の耐震研究促進と震害防止に関する要望書について。6) 昭和 46 年度論文賞選考委員会委員推薦について。

(14) 行事企画委員会幹事会(46.9.8) 出席者：嶋副委員長，ほか 4 名。議事：1) 議事録の確認。2) 次回委員会の運営について。

(15) 海岸工学委員会編集小委員会 (46.9.10) 出席者：堀川委員長，ほか 8 名。議事：第 18 回海岸工学講演会論文集の編集作業を行なった。

(16) 土木製図基準改訂委員会（第 3 回）(46.9.10) 出席者：菊池委員長，ほか 14 名。議事：1) 自動製図の基準化に関する問題点について；前回にひきつづき下記のゲストを中心に最近の各方面の話題等を聞き，問題点の検討を行なった：①岩崎通信機(株)の場合(古屋氏)，②(株)宮地鉄工所の場合(大西氏)，③国鉄の場合(阿部氏)。2) 現土木製図基準の主な改訂箇所と作業予定について。

(17) 第 2 回安全問題研究委員会(46.9.10) 出席者：丸安委員長，ほか 10 名。議事：委員会運営推進について。

(18) 土木計画学研究委員会幹事会 (46.9.11) 出席者：長尾幹事長，ほか 10 名。議事：1) 経過報告。2) 第 6 回土木計画学シンポジウムのうち その 2. パネルディスカッションの部，諸件協議。3) その他。

(19) 環境問題小委員会幹事会(46.9.11) 出席者：松本委員長，南部副委員長，ほか 10 名。議事：固形廃棄物大気汚染に関する調査研究について。

(20) 原子力土木委員会耐震部幹事会 (46.9.11) 出席者: 岡本部長, ほか 5 名。議事: 静的耐震設計の報告書検討。

(21) 海洋構造物に関する調査研究委員会打合せ (46.9.13) 出席者: 関係者 7 名。議事: 委員会の運営につき打合せた。

(22) シールド工法小委員会鋼製セグメントの規格化に関する研究分科会打合せ (46.9.14) 出席者: 村上主査, 山本副主査, ほか 4 名。議事: 鋼製セグメントの規格化に関する研究の原案審議。

(23) 原子力土木委員会立地部会 (46.9.14) 出席者: 松井部会長, ほか 16 名。議事: 1) 交替委員の紹介。2) 一般経過報告。3) 分科会報告。

(24) “土木技術者のための岩盤力学”改訂小委員会幹事打合せ (46.9.14) 出席者: 関係者 5 名。議事: 各章の検討を行なった。

(25) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会鋼構造分科会 (46.9.14) 出席者: 関係者 10 名。議事: 1) 作成方針。2) 今後の作業の進め方。3) 所要資料の選定。

(26) 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会 (46.9.14) 出席者: 岩井委員長, ほか 12 名。議事: 1) 山地からのリンの流出について。2) 農地からの肥料成分の溶出, 流出について。

(27) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会第 4 回塗装分科会 (46.9.16) 出席者: 関係者 7 名。議事: 塗装仕様の作成。

(28) 論文集編集委員会第 1 小委員会 (46.9.16) 出席者: 伊藤主査, ほか 11 名。議事: 1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) その他。

(29) 論文集編集委員会第 5 小委員会 (46.9.16) 出席者: 岩間主査, ほか 7 名。議事: 1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) その他。

(30) 行事企画委員会幹事会 (46.9.17) 出席者: 嶋副委員長, ほか 3 名。議事: 秋のエキスカージョンの実施について。

(31) 論文集編集委員会第 4 小委員会 (46.9.17) 出席者: 新谷主査, ほか 7 名。議事: 1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) その他。

(32) 終局強度に関する打合せ (46.9.18) 出席者: 関係者 10 名。議事: リ

ンド教授(カナダ)の講演; 確率的手法による設計の考え方。

(33) 岩盤力学委員会第 3 分科会打合せ (46.9.18) 出席者: 関係者 4 名。議事: 現地岩盤試験資料のとりまとめ(東京グループとして)を行なった。

(34) 土木計画学研究委員会幹事会 (46.9.18) 出席者: 長尾幹事長, ほか 17 名。議事: 1) 経過報告。2) 第 6 回土木計画学シンポジウムのうち「評価のための分析モデル」について研究・協議。3) その他。

(35) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会(第 2 回) (46.9.20) 出席者: 久保委員長, ほか 24 名。議事: 1) 第 1 グループ活動経過報告および討議。2) 第 2 グループ活動経過報告および討議。3) 第 3 グループ活動経過報告および討議。

(36) 論文集編集委員会第 3 小委員会 (46.9.20) 出席者: 久野主査, ほか 7 名。議事: 1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報告。5) その他。

(37) 会誌編集委員会打合せ (46.9.20) 出席者: 服部幹事長, ほか 12 名。議事: 1) 経過報告。2) 学会誌 57 巻 1 号特集記事について協議。3) その他。

(38) 岩盤力学委員会第 1 回研究会 (46.9.21) 出席者: 関係者 36 名。議事: 講演—1 ダム基礎岩盤のグラウチング施工指針(案)について/山口 登委員。講演—2 溶岩地帯におけるダム基礎の改良/建設省 田原正清氏。

(39) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会第 2 回荷重分科会 (46.9.21) 出席者: 関係者 10 名。議事: 自動車荷重, 列車荷重について。

(40) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会第 4 回幹事会 (46.9.21) 出席者: 大久保委員長, ほか 8 名。議事: 1) 風洞実験法に関する調査について。2) 設計指針について。3) 実験橋について。

(41) 会誌編集委員会特集打合せ (46.9.21) 出席者: (原子力土木委側) 5 名, (会誌側) 千秋委員長, ほか 2 名。議事: 1) 経過報告。2) 学会誌 57 巻 2 号特集について; ①目次・内容の協議, ②執筆者の内定。3) その他。

(42) PC 工法小委員会 SEE 工法 (46.9.22) 出席者: 国分委員長, 河野主査, ほか 21 名。議事: SEE 工法設計施工指針(案)の逐案審議を行なった。

(43) 論文集編集委員会第 2 小委員会 (46.9.22) 出席者: 室田主査, ほか 9 名。議事: 1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 主査幹事会報

告。5) その他。

(44) 安全問題研究委員会第 3 回幹事会 (46.9.22) 出席者: 関係者 5 名。議事: 都市地下埋設物事故調査について。

(45) 論文集編集委員会主査幹事会 (46.9.22) 出席者: 久野副委員長, 伊藤, 室田, 岩間の各主査, ほか 4 名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 各小委員会報告。3) 論文報告集第 196 号登録原稿について。4) 論文 1 編あたりのページ数について。5) その他。

(46) 海外工事契約仕様書研究会 (46.9.23) 出席者: 吉越主査, 横山, 赤木副主査, ほか 25 名。議事: 第 2 章について協議。

(47) 昭和 46 年度第 1 回吉田賞選考委員会 (46.9.23) 出席者: 関係者 12 名。議事: 1) 委員会構成について。2) 委員会内規について。3) 募集要項について。4) 研究奨励金募集要項について。5) 日程について。

(48) 橋梁年報編集小委員会 (46.9.23) 出席者: 阿部委員長, ほか 2 名。議事: 橋 1970~1971 の編集につき打合せを行なった。

(49) 海外活動委員会 (46.9.23) 出席者: 太田尾委員長, 吉越副委員長, ほか 11 名。議事: 1) 前回幹事会報告。2) 建設コンサルタント委員会よりの「開発途上国に対する土木技術協力の強化および促進に関する提言」について。3) 海外支所について。4) その他。

(50) 下水汚泥海洋還元に関する分科会打合せ (46.9.27) 出席者: 関係者 9 名。議事: 下水汚泥の実投棄について。

(51) 昭和 46 年度土構造物の設計標準に関する研究委員会第 1 回委員会 (46.9.28) 出席者: 最上委員長, ほか 26 名。議事: 1) 委員長挨拶。2) 昭和 46 年度委員会構成について。3) 昭和 46 年度研究計画について。4) 杭土圧構造物第 1 章原案について。

(52) 沈埋トンネル耐震設計研究委員会幹事会 (46.9.28) 出席者: 岡本委員長, 伊吹山副委員長, 田村幹事長, ほか 13 名。議事: 1) 議事録の確認。2) 第 6 回天然資源日米会議および耐震関係視察報告。3) 衣浦港連絡道路の設計・施工について。4) 各分科会研究方針(案)の検討。

(53) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会トンネル分科会 (46.9.28) 出席者: 関係者 9 名。議事: 1) 今後の進め方について。2) 資料の取扱いについて。

(54) 昭和 46 年度第 1 回論文賞選考

委員会(46.9.28)出席者:関係者17名。議事:1)委員長の選出。2)副委員長,各部門主査の選出。3)幹事の指名。4)委員会内規について。5)前年度からの申送り事項について。6)募集要項について。7)日程について。8)その他。

(55) 昭和46年度第1回水理委員会(46.9.29)出席者:安芸,石原,伊藤の各顧問,吉川委員長,岩佐幹事長,ほか31名。議事:1)議事録の確認。2)報告事項;①第7回水工学に関する夏期研修会収支報告,②移動床流れの粗度と河床形状研究小委員会報告,③水理公式集の改訂作業状況報告,④水資源懇談会活動状況報告,⑤第14回IAHR報告。3)第16回水理講演会について。4)水理委員会の研究,調査活動の具体化について。

(56) 水理委員会第2回幹事会(46.9.29)出席者:伊藤顧問,吉川委員長,岩佐幹事長,ほか10名。議事:1)議事録の確認。2)報告事項;①第7回水工学に関する夏期研修会収支報告,②移動床流れの粗度と河床形状研究小委員会報告,③水理公式集の改訂作業状況報告,④水資源懇談会活動状況報告,⑤第14回IAHR報告。3)第16回水理講演会について。4)水理委員会の研究,調査活動の具対化について。

(57) アルミナセメント幹事会(46.9.29)出席者:関係者6名。議事:コンクリート・ライブラリーの刊行について。

(58) 本州四国連絡橋綱上部構造研究小委員会第3回鋼材分科会(46.9.29)出席者:関係者14名。議事:鋼材について。

(59) 岩盤力学委員会第1分科会グラウト班幹事会(46.9.29)出席者:関係者3名。議事:ダム基礎岩盤のグラウティング施工指針(案)の作成。

(60) 衛生工学委員会幹事会(46.9.30)出席者:関係者4名。議事:1)次回衛生工学委員会の議論整理,準備。2)水高度利用小委員会の組織,運営の検討。3)第8回衛生工学研究討論会準備。

(61) 原子力土木委員会廃棄物部会(46.9.20)出席者:左合部会長,ほか14名。議事:1)講演 円柱状,直方体状多孔体内からの拡散溶出について 寺島委員。2)一般討議。

(62) 本州四国連絡橋綱上部構造研究小委員会第3回座屈分科会(46.9.30)出席者:関係者12名。議事:主査設計法について。

(63) 岩盤力学委員会第1分科会地質調査班打合せ(第17回)(46.9.30)出

席者:関係者4名。議事:地質調査に関する解説書原稿の検討。

(64) 橋梁年報編集小委員会(46.9.30)出席者:阿部委員長,ほか3名。議事:橋1970~1971の編集につき打合せを行なった。

(65) 環境問題小委員会(46.10.1)出席者:松本委員長,南部副委員長,ほか9名。議事:1)経過報告。2)委員の交代。3)大気汚染問題について。4)固型廃棄物問題について。5)水の高度利用について。

(66) 土木計画学研究委員会(46.10.1)出席者:米谷委員長,長尾幹事長,ほか15名。議事:1)経過報告。2)第6回土木計画学シンポジウム中間報告および協議。3)その他。

(67) 本州四国連絡橋綱上部構造研究小委員会第5回塗装分科会(46.10.1)出席者:関係者8名。議事:塗装仕様の作成。

(68) 衛生工学委員会(46.10.1)出席者:左合委員長,ほか9名。議事:1)各小委員会の活動状況の報告;①環境問題小委員会,②水高度利用小委員会,③下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会;農業利用に関する分科会,海洋還元に関する分科会,熱処理等に関する分科会,④琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会。2)第8回衛生工学研究討論会。

(69) 昭和46年度第1回田中賞選考委員会(46.10.4)出席者:関係者16名。議事:1)委員会の構成について。2)委員会内規について。3)募集要項について。4)前年度からの申送り事項について。5)日程について。6)その他。

(70) 昭和46年度第1回表彰委員会(46.10.5)出席者:高野委員長,ほか13名。議事:1)副委員長,功績賞・技術賞両主査の選出,幹事の指名。2)委員会内規について。3)論文賞,吉田賞,田中賞各選考委員会報告。4)功績賞,技術賞両募集要項の決定。5)日程について。6)その他。

(71) 海外工事契約仕様書研究会(46.10.7)出席者:横山,赤木副主査,ほか15名。議事:第2章後半について協議。

(72) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会第5回幹事会(46.10.7)出席者:大久保委員長,ほか10名。議事:1)議事録の確認。2)模型実験法について。3)耐風実験橋について。

(73) 総合開発懇談会幹事会(46.10.7)出席者:八十島幹事長,ほか4名。議事:1)経過報告。2)第3回総合開発懇談会の実施方協議。3)その他。

(74) 文献調査委員会(46.10.7)出席者:小林委員長,ほか8名。議事:1)会誌56巻12号登載抄録について。2)解説記事について。3)文献目録について。

(75) 海洋構造物に関する調査研究委員会打合せ(46.10.7)出席者:村上委員長,ほか9名。議事:海洋鋼構造物設計指針目次(案)および設計指針作成分科会(作業グループ)の編成。

(76) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会コンクリート構造分科会(46.10.8)出席者:関係者10名。議事:1)作成方針。2)所要資料の選定。3)今後の作業の進め方。

(77) 原子力土木委員会幹事会(46.10.8)出席者:関係者5名。議事:1)第3回原子力土木委員会資料作成。2)各会会の今後の運営方針について。

(78) 下水汚泥農業利用に関する分科会および現地視察(46.10.8~9)出席者:鈴木主査,ほか29名。議事:下水汚泥の農業利用に関する中間報告会を行なった。

(79) 沈埋トンネル耐震設計研究委員会分科会主査打合せ(46.10.9)出席者:田村,土田,栗林の各分科会主査。議事:各分科会研究項目の検討。

(80) 岩盤力学委員会第3分科会打合せ(46.10.9)出席者:関係者3名。議事:現地岩盤試験資料のとりまとめ。

(81) 視聴覚教育委員会選定映画審査会(46.10.9)出席者:綾幹事長,ほか9名。議事:選定映画応募作品5編の審査を行ない次の3編を選定した;「松原・下釜ダム建設記録 編集編」/「海底トンネル・洞海湾の沈埋工法」/「世界に誇る第三人工島」

◎その他

(1) 昭和46年度支部幹事長会議(46.9.7)出席者:(北海道)岸,山本,(東北)浅間,比佐,(関東)峰岸,(中部)本多,石井,(関西)後藤,坂上,(中四)菰本,(西部)井,藤田の各幹事長および事務局員,(理事者)高野会長,石川副会長,下村専務理事。議事:1)開会あいさつ。2)会長あいさつ。3)自己紹介。4)本部連絡事項。5)全国大会概要(東北支部)。支部要望事項。7)その他。

(2) 第3回耐風構造国際会議(46.9.6~9)

場所:日本学術会議講堂

主催:日本学術会議

共催:日本鋼構造協会・日本建築学会・土木学会

参加者：約 220 名（うち外国人 86 名）
論文数：116 編（うち講演数 69 題）
(3) 昭和 46 年度夏期講習会（46.9.16~17）

場 所：杉並公会堂

テーマ：土木技術者のための法律講座

参加者：375 名

講演題数：13 題

(4) 「ヨーロッパにおける海洋レジャー施設について」講演会（46.9.22）

場 所：土木図書館講堂

講 師：フランス国ソグレア水理研究所教師 Louis Jourmen

題 目：ヨーロッパにおける海洋レジャー施設について

参加者：約 40 名

懇談会：トーマン氏と海岸工学委員会委員数名により講演全終了後懇談会が行なわれた。

(5) 水理学に関する国際会議報告会（46.9.29）

場 所：土木図書館講堂

参加者：約 30 名

報告題数：3 題

支 部 だ よ り

◎東北支部

(1) 学生見学会(岩手大学) (46.10.22)

見学先：八幡平、田沢湖、小岩井の各有料道路、鋸畑ダムなど

参加者：49 名

(2) 土木学会全国大会実行委員会 (46.10.27, セントラルホテル) 出席者：

48 名。議題：全国大会の経過報告について。

(3) 第 6 回昼食会 (46.11.11, 支部事務局) 出席者：15 名。議題：昭和 46 年度東北支部年次行事について

講演：昭和 45 年度土木科卒業生の就職状況について／東北工業大学菊地教授

(4) 在仙役員会 (46.11.12, クローバー) 出席者：25 名。議題：1) 昭和 46 年度東北支部年次行事について。2) 昭和 46 年度全国大会の経過報告。

◎関西支部

(1) 「工事管理の問題点を探る」研究会(第 2 回)——建設業界からの提起——(46.9.22, 大阪科学技術センター)

問題点提起者：

大阪建設業協会 中条 博之
(株)鴻池組大阪本店

技術部長 矢木 茂昭

(株)大林組クラレ中山寺

工事事務所長 海津 智琢

司 会：

京都大学教授工学部土木
工学教室 工博 吉川 和広

(社)建設コンサルタンツ

協会大阪支部事務室長

柳田 保男

参加者：55 名

(2) 第 1 回見学会(和歌山地方見学会) (46.10.12)

見学先：和歌山県和歌山南港(木材港)
および北港住友金属工業和歌

山製鉄所

参加者：28 名

参加費：1000 円

(3) 第 2 回商議員会 (46.10.20, 好文倶楽部) 出席者：田中支部長、伊藤幹平長、ほか 34 名。

(4) 第 4 回幹事会 (46.10.20, 好文倶楽部) 出席者：田中支部長、後藤幹平長、ほか 17 名。

◎西部支部

(1) 関門およびます淵ダム工事見学会 (46.11.10)

見学工事：(日本道路公団)高速道路関門橋門司側工事、(日本国
有鉄道)新幹線トンネル門
司側工事、(福岡県)ます
淵ダム建設工事

参加料：1000 円

参加者：44 名

(2) 第 3 回幹事会および全国大会準備委員会 (46.11.12, 三和地下会議室)

議事：1) 支部長川崎偉志大氏転出、後任に日本道路公団福岡支社長吉田喜市氏就任、ほか幹事 2 名異動報告。2) 支部総会および昭和 46 年度研究発表会を昭和 47 年 2 月 20 日開催のこと報告。3) 関門見学会実施報告および新材料新工法発表会を 12 月 8 日開催のこと報告。4) 第 2 回幹事会において幹事全員昭和 47 年度全国大会準備委員会委員に委嘱、委員長に副会長、九大教授篠原龍氏を推挙、本
日準備委員長としての挨拶あり。5) 全国大会行事につき井幹平長提案により熟議、各自持帰りのうえ次回準備委員会を
早急開催のこととす。

編 集 後 記

12 月号は仙台で行なわれました全国大会の特集号となりました。年々大会も盛大となり、大変結構なことなのですが、発表される研究報告の分野・方面もますます多岐にわたり、その総括報告には編集者としては毎年頭を痛めているわけです。大会を終えられてほっとしている会員の方々とは逆に、大会終了とともに重い気分になっています。今年はとくに各論文についての論評はせず、それぞれの分野の現況・展望を 15 名の方々にご報告戴く事になりました。

研究討論会の方は今年からとくに学会の大サービスで 1 号余分に出版する「(Annual) 72」(明年 3 月発行予定)の方に集録致しますので、その方とあわせご高覧戴きたいと思っています。

特別講演の「日本の東西」のお話し、あるいは「人類の進歩」のお話し、われわれの日常の生活の中にも何にかと思ひ当る所があり、それぞれの問題の門外漢の私どもにも大変興味深く感じられることと思ひます。

12 回続きました「土木技術者のための法律講座」は今回で終りとなります。大変有益な講座を担当されました執筆者の方々に紙上を借りまして厚くお礼申し上げる次第であります。今回は新年号から現在ますます発展途上にあります「数値解析法」についての講座を開く予定にしておりますので、ご期待下さい。

学会誌初の中絵ページとして本年正月号から連載して参りました「ひとシリーズ」も、本号にて終了致します。まだまだ続けなさいという声も聞かれますが、ものはおしまれるうちにやめるのが華であるとのことで、12 回で完了することとしました。取材に応じられた各位、また種々ご支援を下さいました各位に厚くお礼申し上げます。なお、最終回となりました本号の取材に際しましては、沖縄在住の各位に公私ともども大変お世話になったと聞いております。本欄で重ねてお礼申し上げます。次回シリーズは「構造物シリーズ」として新年号から掲載を予定しております。 (倉西 茂・記)